

報道機関への情報提供 (2021/2/16)

県北広域振興局

**北いわて未来づくり先進フォーラム～SDGsで切り開く北いわての未来～  
の開催について**

(経営企画部)

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) は、「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標であり、国のみならず全国の自治体、世界中の企業や団体等が取り組み始めています。

SDGsを達成するためには、公的セクターだけでなく民間セクターの貢献が重要であり、その取組は産学官それぞれにおいてメリットがあります。

そこで今回、北いわて未来づくりネットワーク会員のSDGsに関する基礎的な理解を深めるため、SDGsの生まれた背景や取り組むメリット、具体の取組事例について学ぶフォーラムを開催します。

## 記

**1 開催日時及び開催方法**

(1) 開催日時：令和3年3月3日(水) 14:00～17:00

(2) 開催方法：ZOOMによるオンライン(オンライン定員40名)

※ ZOOMを利用できない会員は、次のいずれかの会場で参加可能(各会場20名まで)。

○ 久慈地区合同庁舎 6階大会議室

○ 二戸地区合同庁舎 2階 2-A・B会議室

**2 主催**

北いわて未来づくりネットワーク

**3 対象者**

ネットワーク会員

**4 プログラム及び講師(講師はオンラインで講演)**

(1) SDGsの説明(30分)

演題：「SDGsに取り組むこととは」(仮)

講師：外務省国際協力局地球規模課題総括課外交実務研究員 伊東 孝将 氏

(2) SDGsに関する講演(60分)

演題：「SDGsの“自分ごと化”のフェーズ」(仮)

講師：神田外語大学言語メディア教育研究センター長 准教授 石井 雅章 氏

(3) SDGsの取組事例紹介(60分)

演題：「捨て方をデザインする循環ビジネス」(仮)

講師：(株)ナカダイ 代表取締役 中台 澄之 氏

**5 その他(会場参加者について)**

当日、マスクの着用をお願いします。また、検温及び手指消毒を実施します。

担当：経営企画部企画推進課長 細越 健志

電話：0194-66-9671 内線 315



株式会社SUBARU 様による  
実習で使う教材としてのエンジン（水平対向エンジンFB20A-GJBB）の寄贈について  
（県立二戸高等技術専門校）

県立二戸高等技術専門校自動車システム科は、国土交通大臣指定 2 級自動車整備士養成施設であり、本校で学ぶ学生は、自動車業界で即戦力になれる自動車整備士をめざしています。

このたび、株式会社SUBARU（代表取締役社長 中村知美）様より、本校に、水平対向エンジン（FB20A-GJBB）2 台を教材として寄贈していただきましたので、お知らせします。

寄贈にあたり、岩手スバル自動車株式会社様を通じ株式会社SUBARU様より下記のとおりコメントをいただいております。

### 株式会社SUBARU 様からのコメント

「水平対向エンジンは、SUBARUのクルマづくりのモットーである「すべては安心と楽しさのために。」を叶える理想のパワーユニットです。

学生の皆さんには、分解、組立といった実習を通じて、時代のニーズに応える最新技術と「もっと走りをもくしたい」というSUBARUエンジニアならではの強いこだわりを感じていただければ嬉しく思います。」

本校の修了生は、地域のクルマの安全を守る仕事人となります。整備の訓練において、実習で使える教材、特に最新のテクノロジーを搭載した教材は必要不可欠なものです。寄贈されたエンジンを用いて、時代に即した整備技術の向上を図っていきます。

## 1 贈呈者及び贈呈されたエンジンの概要

株式会社SUBARU様は、水平対向エンジンとシンメトリカルAWDというコア技術を起点に、乗り心地の良さと高い居住性を併せ持つツーリングワゴンという新たなカテゴリーを作り出すなど、現在のSUVの先駆けとなった車両を多く生み出している自動車メーカーです。

今回寄贈されたエンジンは、インプレッサスポーツ、XV等の主力車種に搭載されているエンジンです。

## 2 寄贈日時等

- (1) 日時 令和3年2月19日（金）午前10時30分
- (2) 場所 県立二戸高等技術専門校自動車システム科実習棟
- (3) 寄贈物 水平対向エンジン 型式FB20A-GJBB 2台（44万円相当）
- (4) 本校の教材活用法 「自動車整備作業」の実習において、点検、分解、組立、調整、検査作業に活用していきます。
- (5) その他 本校において、寄贈されたエンジンの実物及び学生への取材は可能です。

## 3 その他

寄贈者の意向により、寄贈式は行いません。また、本件についての株式会社SUBARU様及び県内唯一の系列ディーラーである岩手スバル自動車株式会社様への取材は御遠慮くださいますようお願いいたします。

【参考】



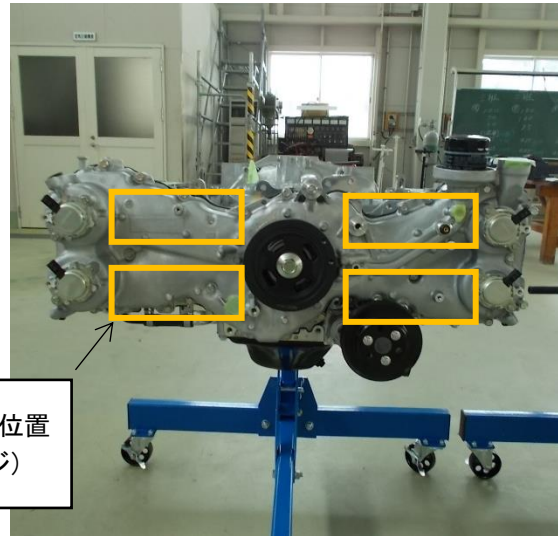
寄贈物 水平対向エンジン 型式FB20A-GJBB 2台

○水平対向エンジンの特徴

通常のエンジン（左）では、燃焼室であるシリンダーが地面に対し縦に配置されるのに対し、水平対向エンジン（右）では、地面に対して平行（水平）に配置される



直列エンジン



水平対向エンジン

シリンダー位置  
(イメージ)

担当

県立二戸高等技術専門学校  
校長 熱海芳廣、 校長補佐 阿部 恵一  
Tel: 0195-23-2227 / Fax: 0195-23-9081

# 「フードダイバーシティ・オンラインセミナー」開催要領

## ～ウィズコロナ&アフターコロナに向けた食の多様性への対応～

### 1 目的

令和2年1月、二戸市内の食関連企業が連携し、多くの外国人の食のニーズに対応するため、多文化・多様な食に適応した取組を目指し、「二戸フードダイバーシティ宣言」を行った。これを踏まえ、ヴィーガン、ベジタリアン等、宗教や主義にとらわれずに食を楽しむ環境づくりのため、地域の「食」に関わる全ての関係者を対象として「食戒律のルール」や「フードダイバーシティ」等に係る理解促進と意識醸成を図る。

### 2 日時

令和3年2月17日（水） 13時30分～15時30分

### 3 開催方法

#### (1) オンライン開催

- ・Zoomミーティングにより開催
- ・接続テスト（2/9 予定）及びセミナー当日（2/17）の「ミーティングID」「パスコード」は、参加申込書に記載のメールアドレスへ後日送信。

#### (2) 視聴会場

- ・Zoomミーティングへの接続環境が整わない方は、以下の会場にて視聴可能  
【視聴会場】二戸市シビックセンター 1階ホール（二戸市石切所荷渡 6-2）  
※注意：新型コロナウイルス感染症に係る情勢を踏まえ、設置を中止とする場合があります。

### 4 内容

#### ○はじめに「二戸フードダイバーシティ宣言について」

趣旨説明：株式会社南部美人 代表取締役 久慈 浩介氏

#### ○研修1 「外国人観光客の食の多様性とニーズ」

講師：フードダイバーシティ株式会社 代表取締役 守護 彰浩氏

#### ○研修2 「ヴィーガン・レストラン菜道の実例や取組について」

講師：株式会社Funfair、レストラン菜道 楠本 勝三氏  
フードダイバーシティ株式会社 代表取締役 守護 彰浩氏

### 5 参集範囲

二戸・久慈地域の農業者、食関連企業・事業者（飲食店、宿泊業者等）、食関連団体、観光関連団体、JA、行政機関 等

### 6 申込方法

令和3年2月3日（水）までに、別紙様式により二戸農林振興センターあて申し込み願います。

### 7 問い合わせ先

県北広域振興局農政部 二戸農林振興センター 担当：平渕  
電話：0195-23-9203 FAX：0195-23-9387 email：h-hirabuchi@pref.iwate.jp

報道機関への情報提供 (2021/2/19)

県北広域振興局

## 第 41 回市民公開健康講演会の開催について

(岩手県立久慈病院)

- 1 日時 令和3年2月25日 13時30分から15時30分まで
- 2 場所 アンバーホール 小ホール
- 3 主催 久慈医学談話会 (岩手県立久慈病院事務局)
- 4 対象 一般市民
- 5 内容

久慈医学談話会主催の「第41回市民公開健康講演会」が次のとおり開催されます。  
病気の予防や健康づくりに役立つ内容となっているほか、地域医療の現状や課題について医師等がわかりやすく説明します。

予約不要・参加無料です。みなさまのご来場をお待ちしております。

※新型コロナウイルス感染拡大予防のため、マスク着用でご参加ください。

**演題 1 (13:35~14:30)****「伸ばそう 健康寿命」**

講師：久慈医師会顧問・竹下医院院長 竹下 敏光

**演題 2 (14:30~15:10)****「慢性腎臓病ってなんだろう」**

講師：久慈病院 透析看護認定看護師 向山 いつか

**演題 3 (15:10~15:30)****「久慈医療圏の現状と課題」**

講師：久慈病院 院長 川村 英伸

担当：県立久慈病院 次長 柝澤 健一

電話：0194-53-6131

# 第41回市民公開健康講演会

日時：令和3年2月25日（木）

13時30分～15時30分（開場13時）

会場：アンバーホール 小ホール

演題1 (13:35～14:30)

・「伸ばそう 健康寿命」

久慈医師会顧問・竹下医院院長 竹下 敏光

演題2 (14:30～15:10)

・「慢性腎臓病ってなんだろう？」

久慈病院 透析看護認定看護師 向山 いつか

演題3 (15:10～15:30)

・「久慈医療圏の現状と課題」

久慈病院 院長 川村 英伸

問い合わせ先

主催：久慈医学談話会（久慈病院事務局）電話：0194-53-6131

報道機関への情報提供 (2021/2/26)

県北広域振興局

## 第37回久慈地区山火事予防ポスターコンクール表彰式の開催について

(林務部)

久慈地域の次代を担う小中学校児童・生徒の山火事予防への関心を高めるとともに、地域住民の山火事予防意識の啓発を目的とした標記コンクールについて、下記のとおり表彰式を開催します。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、出席者を最優秀賞受賞の児童・生徒などとします。

## 記

- 日時 令和3年3月4日(木) 14時～14時30分
- 場所 久慈地区合同庁舎 6階大会議室
- 主催者等 主催：久慈地方林業振興協議会(会長：久慈市長 遠藤 譲一)  
共催：県北広域振興局 後援：いわて農林水産振興協議会ほか

## 4 コンクール概要

## (1) 出品数

区分	出品校数	出品点数
小学校低学年の部	10校	42点
小学校高学年の部		65点
中学校の部	4校	20点
合計	14校	127点

## (2) 審査結果

## 【個人賞】

最優秀賞	小学校低学年の部	久慈市立久慈小学校3年	永瀬 花凜(ながせ かりん)
	小学校高学年の部	久慈市立山形小学校6年	成谷 奏太(なりや そうた)
	中学校の部	久慈市立山形中学校2年	上村 悠(かみむら ゆう)
優秀賞	小学校低学年の部 2名、小学校高学年の部 2名、中学校の部 1名		
優良賞	小学校低学年の部 2名、小学校高学年の部 4名、中学校の部 1名		
入選	小学校低学年の部 5名、小学校高学年の部 11名、中学校の部 3名		

## 【団体賞】

学校賞	小学校の部	久慈市立山形小学校	中学校の部	久慈市立山形中学校
-----	-------	-----------	-------	-----------

## 5 表彰式出席予定者

個人賞の最優秀賞受賞の児童、生徒及び引率者。団体賞の学校賞受賞校関係者。

## 6 作品の展示等

- 入賞(最優秀賞～入選)作品34点は、3月11日から5月31日まで久慈地区合同庁舎1階県民ホールに展示予定。
- 最優秀賞、優秀賞の作品は「令和3年度久慈地区山火事予防カレンダー」に掲載。

担当：林業振興課長 佐々木 康彦  
電話：0194-53-4984 内線 226

【参考 1】

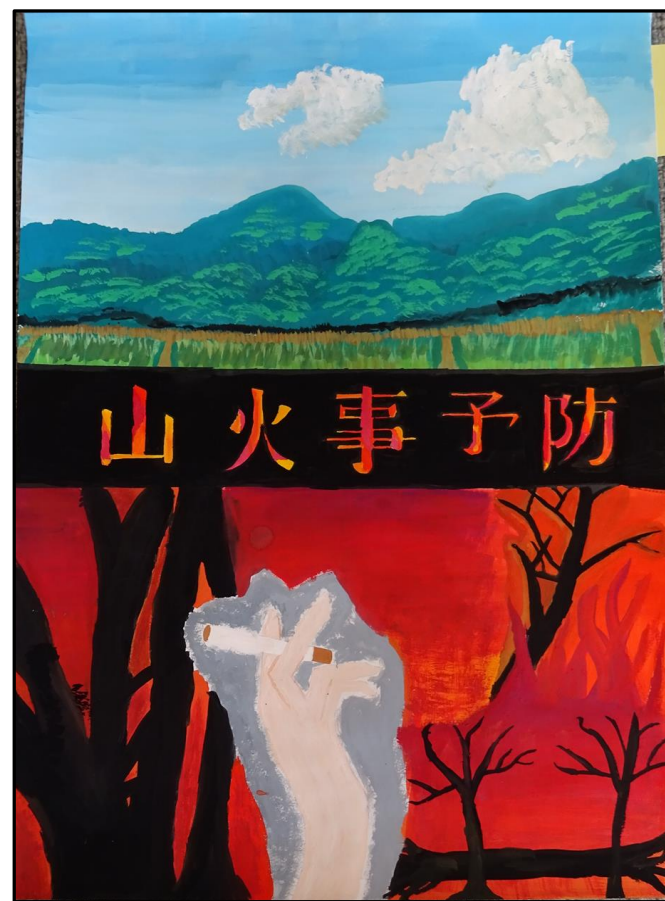
## 第37回久慈地区山火事予防ポスターコンクール 最優秀作品



小学校低学年の部  
久慈市立久慈小学校3年  
永瀬 花凜



小学校高学年の部  
久慈市立山形小学校6年  
成谷 奏太



中学校の部  
久慈市立山形中学校2年  
上村 悠



【参考 2】

1 入賞内訳

(1) 個人賞

賞区分	部 門	学校名及び学年	氏 名
最優秀賞	小学校低学年の部	久慈市立久慈小学校 3年	永瀬 花凜 (ながせ かりん)
	小学校高学年の部	久慈市立山形小学校 6年	成谷 奏太 (なりや そうた)
	中学校の部	久慈市立山形中学校 2年	上村 悠 (かみむら ゆう)
優 秀 賞	小学校低学年の部 2名、小学校高学年の部 2名、中学校の部 1名		
優 良 賞	小学校低学年の部 2名、小学校高学年の部 4名、中学校の部 1名		
入 選	小学校低学年の部 5名、小学校高学年の部 11名、中学校の部 3名		

(2) 団体賞

賞 区 分	部 門	学校名
学 校 賞	小学校の部	久慈市立山形小学校
	中学校の部	久慈市立山形中学校
奨 励 賞	小学校の部	久慈市立来内小学校
	中学校の部	久慈市立久慈中学校